

答え合わせ・解説

問1	答え 3 議会	国際連盟はアメリカのウィルソン大統領が提唱したのですが、加盟の承認権を持つアメリカ議会で強い反対に遭いました。結果として、アメリカは条約を批准できず、国際連盟に加盟しませんでした。
問2	答え 4 マスメディア	マスメディアの発展は「情報の大衆化」を促しました。特に1925年に始まったラジオ放送は、家庭にいながら最新のニュースや娯楽を楽しめる画期的なものでした。新聞や雑誌も発行部数を伸ばし、全国的に同じ情報が共有されるようになりました。
問3	答え 3 普通選挙法	1925年に制定された普通選挙法により、それまであった「一定額以上の納税」という条件が撤廃されました。これにより、満25歳以上のすべての日本男子が衆議院議員の選挙権を持つようになりました。しかし、同時に治安維持法が成立し、自由な政治活動が制限される側面もありました。
問4	答え 2 政党内閣	政党内閣は、議会政治を重んじ、衆議院で勢力を持つ政党の力を反映して運営されます。日本で初めて本格的な政党内閣を組織したのは原敬です。選挙で選ばれた議員たちが政策を決定する仕組みが整備されました。
問5	答え 3 治安維持法	治安維持法は、天皇制（国体）を変革しようとする組織や、私有財産制度を否定するような社会主義・共産主義的な活動を厳しく取り締まるための法律です。この法律は後に内容が強化され、思想や言論の自由を奪い、国民を弾圧する手段として広く用いられました。
問6	答え 2 第一次護憲運動	桂太郎が強引に内閣を組織したことに対し、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって「憲法擁護」を訴え、大規模な国民運動に発展しました。この圧力により桂内閣は短期間で総辞職に追い込まれました。
問7	答え 4 衆議院議員	原敬は、爵位を持たない一般国民出身の衆議院議員でありながら首相の座に就きました。そのため「平民宰相」と呼ばれ、国民から親近感をもって迎えられました。政党政治の象徴として、国民の声が直接政治に反映されることへの期待が込められていました。
問8	答え 4 五・一五事件	五・一五事件は、海軍の青年将校らが犬養毅首相を官邸で射殺した事件です。これにより「憲政の常道」といわれた政党内閣の時代は終止符が打たれました。
問9	答え 4 大戦景気	その隙に日本製品がアジアやアメリカ市場に浸透し、輸出が飛躍的に伸びました。この結果、造船や鉄鋼業などの産業が急成長し、日本国内には膨大な利益がもたらされました。
問10	答え 2 藩閥政治	桂太郎は長州藩出身で、藩閥の代表として首相を歴任しました。1912年、民意を無視して強引に三度目の内閣を作ったことで、国民の反発は頂点に達しました。
問11	答え 3 三・一独立運動	1919年3月1日、朝鮮の独立を求める宣言書が発表されたのを機に、京城から全土へとデモが拡大しました。学生や市民が「独立万歳」を唱えて行進しましたが、日本の警察や軍隊によって厳しく弾圧され、多くの犠牲者が出ました。
問12	答え 4 シベリア出兵	1918年、日本はアメリカの呼びかけに応じる形で、チェコスロバキア軍の救出などを名目に軍隊をシベリアへ派遣しました。しかし、期待したほどの成果は上がらず、国内では米価高騰の原因にもなりました。
問13	答え 4 ロシア革命	1917年、労働者や兵士を中心とする民衆が蜂起してロマノフ王朝が倒れ、その後レーニンらボリシェヴィキが指導する世界初の社会主義政権が樹立されました。この革命の影響により、国際社会には社会主義体制への警戒感が広がり、多くの国が干渉を試みました。
問14	答え 3 アメリカ	日本は当初、アメリカからの要請を受けて軍隊を派遣しました。日本は広大な地域に多大な兵力を送り込みましたが、アメリカは日本単独の影響力が強まることを警戒し、限られた兵力の派遣にとどめました。結果として、シベリア出兵は目的を達せないまま、日本軍にとって大きな損失を出すことになりました。
問15	答え 4 民衆の利益	吉野作造は、天皇主権という日本の枠組みの中で、いかに民主的な政治を実現するかを模索しました。その結果、主権の所在を問うよりも、政治を行う目的が「民衆の利益」にかなっているかどうか、そして民衆が政治に影響を与えられるかという点を重視すべきだと説きました。
問16	答え 4 ロシア革命	この革命によりロシアで社会主義政府が成立すると、日本などの連合国は、自国への影響拡大を恐れて干渉を試みました。日本はシベリアへ軍隊を派遣し、革命の広がりを抑えようとしてきました。